



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月12日

上場会社名 株式会社 ブイ・テクノロジー
 コード番号 7717 URL <https://www.vtec.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 杉本 重人

問合せ先責任者 (役職名) 社長室IRグループ長 (氏名) 吉村 省吾

TEL 045 - 338 - 1980

定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日

2021年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	55,186	1.6	6,604	16.8	6,836	11.1	3,513	8.1
2020年3月期	54,322	24.7	5,653	66.0	6,156	63.3	3,251	70.2

(注) 包括利益 2021年3月期 5,022百万円 (29.4%) 2020年3月期 3,882百万円 (68.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	363.41		11.8	8.8	12.0
2020年3月期	336.29		11.8	7.9	10.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 94百万円 2020年3月期 43百万円

(注) 2021年3月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期に係る各数値につきましては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	80,591	32,915	38.8	3,233.74
2020年3月期	75,119	29,335	37.7	2,926.03

(参考) 自己資本 2021年3月期 31,268百万円 2020年3月期 28,293百万円

(注) 2021年3月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期に係る各数値につきましては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	20,173	1,251	1,972	33,158
2020年3月期	7,853	3,828	4,074	11,981

(注) 2021年3月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期に係る各数値につきましては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		80.00		40.00	120.00	1,160	35.7	4.2
2021年3月期		60.00		60.00	120.00	1,160	33.0	3.9
2022年3月期(予想)		60.00		60.00	120.00		27.0	

(注) 2021年3月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期に係る各数値につきましては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	8.7	7,200	9.0	7,050	3.1	4,300	22.4	444.70

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	10,057,600 株	2020年3月期	10,057,600 株
期末自己株式数	2021年3月期	388,135 株	2020年3月期	388,111 株
期中平均株式数	2021年3月期	9,669,478 株	2020年3月期	9,669,509 株

(注)当社は、株式交付信託を導入しており、信託口が保有する当社株式を期末自己株式数に含めております(2021年3月期132,000株)。また、信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2021年3月期132,000株)。

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	48,615	1.4	6,496	31.9	7,317	29.4	5,411	45.9
2020年3月期	47,931	26.0	4,925	65.0	5,654	63.1	3,709	66.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	559.66	
2020年3月期	383.59	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	71,398	30,389	42.6	3,142.19
2020年3月期	66,977	25,947	38.7	2,682.66

(参考) 自己資本 2021年3月期 30,383百万円 2020年3月期 25,939百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(企業結合等関係)	13
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

2019年8月22日に行われた株式会社ナノシステムソリューションズとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、遡及修正後の数値を用いて比較分析を行っております。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大等の影響を受け、全体としては1年間を通して厳しい状況が続きましたが、いち早く経済活動を再開した中国は回復しており、大規模な景気対策がなされた米国は持ち直しています。日本は、様々な景気対策がなされたものの新型コロナウイルス感染症の再拡大等の影響を受け、先行き不透明な状況が継続しました。

フラットパネルディスプレイ(FPD)装置事業においては、新工場立上げが中国で再開され、据付作業は、概ね計画通り順調に推移しました。また、世界的なリモートワークの拡大と巣ごもり消費を背景とした既存LCD生産ラインの増強や、中小型OLED、並びに次世代FPDに関連した複数の引合いが確認されました。一方、半導体装置においては、世界的な半導体不足などを背景とした様々な需要の増加が確認されました。

当連結会計年度の当社グループの連結業績につきましては、売上高は551億8千6百万円(前年同期売上高543億2千2百万円)、営業利益は66億4百万円(前年同期営業利益56億5千3百万円)、経常利益は68億3千6百万円(前年同期経常利益61億5千6百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は35億1千3百万円(前年同期親会社株主に帰属する当期純利益32億5千1百万円)となりました。

当連結会計年度の当社グループの受注金額は、369億8千8百万円(前年同期225億3千2百万円)となりました。この結果、当連結会計年度末の受注残高は409億3千9百万円(前年同期591億4千5百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ48億8千5百万円増加し、713億7千9百万円となりました。これは主に、「現金及び預金」が211億7千7百万円増加し、「仕掛品」が91億4千8百万円、「受取手形及び売掛金」が48億2百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ5億8千6百万円増加し、92億1千2百万円となりました。主な要因は、「建設仮勘定」が7億4千4百万円増加したことによります。

この結果、資産は、前連結会計年度末に比べ54億7千1百万円増加し、805億9千1百万円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ23億4千4百万円減少し、341億9千5百万円となりました。これは主に、「前受金」が31億4千1百万円、「支払手形及び買掛金」が16億1千8百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ42億3千5百万円増加し、134億8千8百万円となりました。主な要因は、「長期借入金」が41億2百万円増加したことによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べ18億9千1百万円増加し、476億7千6百万円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ35億8千8百万円増加し、329億1千5百万円となりました。主な要因は、「利益剰余金」が23億3千万円、「非支配株主持分」が6億6百万円増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ、211億7千7百万円増加し、331億5千8百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果取得した資金は、201億7千3百万円となりました。資金の取得は、主に、棚卸資産の減少90億2千1百万円、税金等調整前当期純利益70億5千4百万円、売上債権の減少55億7百万円、減価償却費18億5千5百万円により、資金の使用は、主に、前受金の減少33億8百万円、仕入債務の減少13億8千4百万円、法人税等の支払額10億4百万円によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は12億5千1百万円となりました。資金の使用は、主に、有形固定資産の取得による支出14億6千万円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果取得した資金は、19億7千2百万円となりました。資金の取得は、主に、長期借入金の純増額36億9千4百万円により、資金の使用は、主に、配当金の支払額9億7千4百万円、非支配株主への配当金の支払額8億2千1百万円によります。

(4) 今後の見通し

次期のフラットパネルディスプレイ(FPD)市場については投資の端境期にあり、やや落ち込むと想定されます。一方、半導体製造装置の市場は成長が継続されると見込まれます。このような状況の中、2022年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高60,000百万円(前年同期比8.7%増)、営業利益7,200百万円(前年同期比9.0%増)、経常利益7,050百万円(前年同期比3.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4,300百万円(前年同期比22.4%増)を見込んでおります。

なお、当社の主力製品であるFPD用装置の輸出販売は、主に円建てで行われております。一部、外貨建て取引も行っておりますが、必要に応じて受注時に為替予約を付し、為替変動リスクをヘッジしており、装置販売に関する為替レート変動による影響は軽微と見込んでおります。

※次期の業績見通しについては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想にはさまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益処分に関する基本方針としては、将来の更なる事業拡大に向けたM&A、設備投資、研究開発投資や経営基盤強化のために必要な内部留保の充実を勘案した上で、配当の安定性、継続性、及び配当性向等を考慮し、経営成績に応じた利益還元を行っていく方針としております。

この方針のもと、2021年3月期の期末配当金につきましては、1株当たり60.00円の配当(中間配当金60.00円を含め年間120.00円)実施する予定であります。

次期の配当金につきましては、1株当たり年間120.00円とする予定であります。

	1株当たり配当金		
	中間	期末	年間
当期 (2021年3月期)	60.00円	60.00円	120.00円
次期 (2022年3月期)	60.00円	60.00円	120.00円

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,101	33,278
受取手形及び売掛金	24,132	19,329
電子記録債権	368	51
商品及び製品	123	196
仕掛品	23,126	13,977
原材料及び貯蔵品	1,605	1,783
その他	5,317	3,158
貸倒引当金	△279	△396
流動資産合計	66,494	71,379
固定資産		
有形固定資産		
建物	654	799
減価償却累計額	△279	△329
建物(純額)	374	470
機械及び装置	5,437	6,074
減価償却累計額	△2,273	△3,811
機械及び装置(純額)	3,164	2,263
工具、器具及び備品	2,322	2,386
減価償却累計額	△1,603	△1,760
工具、器具及び備品(純額)	718	626
建設仮勘定	209	953
その他	78	81
減価償却累計額	△6	△12
その他(純額)	71	68
有形固定資産合計	4,539	4,382
無形固定資産		
のれん	1,034	1,104
特許権	46	37
その他	511	483
無形固定資産合計	1,592	1,625
投資その他の資産		
関係会社株式	1,177	1,167
投資有価証券	50	193
繰延税金資産	780	1,306
その他	517	560
貸倒引当金	△32	△23
投資その他の資産合計	2,493	3,203
固定資産合計	8,625	9,212
資産合計	75,119	80,591

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,095	6,477
電子記録債務	5,051	5,264
短期借入金	200	120
1年内返済予定の長期借入金	2,545	2,796
未払金	796	818
未払法人税等	115	2,288
前受金	18,202	15,061
賞与引当金	369	373
製品保証引当金	769	634
受注損失引当金	70	19
その他	322	340
流動負債合計	36,539	34,195
固定負債		
長期借入金	8,861	12,964
繰延税金負債	104	6
退職給付に係る負債	184	224
資産除去債務	93	136
株式給付引当金	—	79
その他	0	68
固定負債合計	9,244	13,480
負債合計	45,784	47,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,847	2,847
資本剰余金	2,974	2,977
利益剰余金	24,932	27,262
自己株式	△2,126	△1,916
株主資本合計	28,628	31,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	6
為替換算調整勘定	△335	89
その他の包括利益累計額合計	△335	96
新株予約権	7	5
非支配株主持分	1,034	1,641
純資産合計	29,335	32,915
負債純資産合計	75,119	80,591

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	54,322	55,186
売上原価	39,200	39,481
売上総利益	15,122	15,704
販売費及び一般管理費	9,468	9,100
営業利益	5,653	6,604
営業外収益		
受取利息及び配当金	18	22
補助金収入	557	138
受贈益	—	74
為替差益	—	122
持分法による投資利益	15	—
その他	32	38
営業外収益合計	623	395
営業外費用		
支払利息	40	54
持分法による投資損失	59	94
その他	21	14
営業外費用合計	121	163
経常利益	6,156	6,836
特別利益		
固定資産売却益	2	271
受取保険金	40	—
その他	0	28
特別利益合計	43	299
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	8	78
その他	—	3
特別損失合計	8	82
税金等調整前当期純利益	6,191	7,054
法人税、住民税及び事業税	1,953	3,049
法人税等調整額	100	△587
法人税等合計	2,054	2,462
当期純利益	4,137	4,592
非支配株主に帰属する当期純利益	885	1,078
親会社株主に帰属する当期純利益	3,251	3,513

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	4,137	4,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	7
為替換算調整勘定	△255	423
その他の包括利益合計	△254	430
包括利益	3,882	5,022
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,048	3,866
非支配株主に係る包括利益	834	1,156

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,847	2,974	23,227	△2,125	26,924
当期変動額					
剰余金の配当			△1,547		△1,547
親会社株主に帰属する当期純利益			3,251		3,251
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,704	△0	1,703
当期末残高	2,847	2,974	24,932	△2,126	28,628

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△1	△79	△80	7	1,133	27,985
当期変動額						
剰余金の配当						△1,547
親会社株主に帰属する当期純利益						3,251
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1	△255	△254	—	△99	△353
当期変動額合計	1	△255	△254	—	△99	1,349
当期末残高	△0	△335	△335	7	1,034	29,335

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,847	2,974	24,932	△2,126	28,628
当期変動額					
剰余金の配当			△974		△974
親会社株主に帰属する当期純利益			3,513		3,513
自己株式の取得				△512	△512
自己株式の処分			△210	723	512
その他		3	1		4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3	2,330	210	2,543
当期末残高	2,847	2,977	27,262	△1,916	31,172

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△0	△335	△335	7	1,034	29,335
当期変動額						
剰余金の配当						△974
親会社株主に帰属する当期純利益						3,513
自己株式の取得						△512
自己株式の処分						512
その他						4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7	424	431	△2	606	1,036
当期変動額合計	7	424	431	△2	606	3,580
当期末残高	6	89	96	5	1,641	32,915

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,191	7,054
減価償却費	948	1,855
のれん償却額	178	250
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△25
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△466	103
賞与引当金の増減額(△は減少)	△56	△0
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△133	△139
新株予約権戻入益	—	△2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11	27
受注損失引当金の増減額(△は減少)	1	△50
株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	79
受取利息及び受取配当金	△18	△22
支払利息	40	54
手形売却損	0	0
為替差損益(△は益)	22	△27
持分法による投資損益(△は益)	43	94
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	0
有形固定資産除却損	8	78
無形固定資産売却損益(△は益)	—	△271
無形固定資産除却損	—	0
売上債権の増減額(△は増加)	1,547	5,507
たな卸資産の増減額(△は増加)	△319	9,021
その他の流動資産の増減額(△は増加)	416	1,711
その他の固定資産の増減額(△は増加)	76	41
破産更生債権等の増減額(△は増加)	529	—
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,885	△1,384
前受金の増減額(△は減少)	△4,479	△3,308
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△898	△23
その他	—	3
小計	△2,263	20,629
利息及び配当金の受取額	18	22
利息の支払額	△41	△55
法人税等の支払額	△5,571	△1,004
法人税等の還付額	5	580
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,853	20,173

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△208
投資有価証券の売却による収入	28	105
関係会社株式の取得による支出	△918	—
関係会社株式の売却による収入	131	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△982	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	129
有形固定資産の取得による支出	△1,960	△1,460
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	△146	△137
無形固定資産の売却による収入	—	322
短期貸付けによる支出	△8	△21
短期貸付金の回収による収入	25	21
その他の収入	3	—
その他の支出	△1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,828	△1,251
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,750	7,270
短期借入金の返済による支出	△13,275	△7,430
長期借入れによる収入	10,190	7,262
長期借入金の返済による支出	△1,085	△3,567
株式の発行による収入	—	234
自己株式の取得による支出	△0	△512
自己株式の処分による収入	—	512
配当金の支払額	△1,547	△974
非支配株主への配当金の支払額	△946	△821
社債の償還による支出	△10	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,074	1,972
現金及び現金同等物に係る換算差額	△126	283
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,734	21,177
現金及び現金同等物の期首残高	19,716	11,981
現金及び現金同等物の期末残高	11,981	33,158

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

企業結合に係る暫定的な処理の確定

2019年8月22日に行われた株式会社ナノシステムソリューションズとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当連結会計年度の連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。この結果、暫定的に算定されたのれんの金額1,453百万円は、会計処理の確定により306百万円減少し、1,147百万円となっております。のれんの減少は、顧客関連資産が441百万円増加、繰延税金資産が134百万円減少したこと等によるものです。

また、前連結会計年度末の連結貸借対照表は、のれんが270百万円、繰延税金資産が107百万円、利益剰余金が26百万円減少し、顧客関連資産が351百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、FPD事業以外の重要なセグメントがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社グループは、FPD事業以外の重要なセグメントがないため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,926円 03銭	3,233円 74銭
1株当たり当期純利益	336円 29銭	363円 41銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	29,335	32,915
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	1,042	1,647
(うち新株予約権(百万円))	(7)	(5)
(うち非支配株主持分(百万円))	(1,034)	(1,641)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	28,293	31,268
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	9,669,489	9,669,465

3. 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

4. 前連結会計年度の1株当たり当期純利益は、「企業結合等関係」の「企業結合に係る暫定的な処理の確定」に記載の見直しが反映された後の金額により算定しております。

5. 純資産の部において、自己株式として計上されている信託に残存する当社株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。なお、1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、当連結会計年度において132,000株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。